

平成14年度水産関係予算検討状況（科学技術関係予算）

平成13年6月18日
水産庁研究指導課

「重点課題」、事業名等	概 要
<p>水産研究・技術開発戦略における重点課題への対応</p> <p>「水産資源の持続的利用のための調査研究の高度化」 ・我が国周辺水域資源調査等推進対策費</p> <p>「積極的な資源造成と養殖技術の高度化」 ・魚類ワクチン普及促進効率化技術開発事業費</p> <p>・海面養殖業ゼロエミッション推進対策調査事業費</p>	<p>我が国周辺水域における主要な水産資源の適切な管理保存と持続的利用を図るため、独立行政法人水産総合センターが都道府県水試等と調査体制を構築して資源調査を行い、TAC等資源管理措置に必要な科学的知見を提供。</p> <p>安価かつ有効なワクチンの普及に資するため、被検魚種を年間を通じて供給するための技術的基盤の構築、及び様々な魚種・サイズに対応した安全かつ効率的な投与法の開発を実施。</p> <p>海面養殖業から水域に排出される汚濁負荷を極力抑えるとともに養殖業及びその他の産業から排出される廃棄物を利用した配合飼料の開発とその普及のための規格の策定、給餌養殖から排出される汚濁負荷を速やかに回収する無給餌養殖との組み合わせ（複合養殖）による効果の実証等を実施。</p>

「重点課題」、事業名等	概 要
<p>「水域生態系の構造・機能及び漁場環境の動態の解明とその管理・保全技術の開発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋廃棄物生物影響調査 <p>「水圏生物の機能の解明と高度利用技術の開発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端技術を活用した海洋バイオマス資源化技術の開発 <p>有明海ノリ不作等対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端技術を活用した有明ノリ養殖業強化対策研究費 ・ 提案公募型有明地域振興対策研究開発事業費 	<p>海洋において廃棄物等により海洋生物への影響が指摘されていることから、この問題に適切に対処するため、海洋における浮遊ゴミ、流出漁具等の廃棄物及び流出油の実態及びこれによる海洋生態系や漁業資源への影響を調査する。</p> <p>海洋投棄されている混獲魚介類や沿岸漁場から回収されるヒトデ等の廃棄物の有効利用を図るため、最先端の精製技術や生物工学的技術を活用して、機能性を持った食品素材や生物分解性等の環境と人に優しい化成品素材への利用技術等の開発を行う。</p> <p>有明海ノリ不作問題の抜本的な対応を図るため、環境耐性や品質に関与する遺伝子の機能解析等を行い、安定的に高品質なノリを生産する革新的な品種改良技術の開発を行う。</p> <p>有明地域の水産業の振興を図るため、大学及び試験研究機関が行う研究開発や中小企業等が行う事業化の高い技術開発に対し、必要な資金を助成。</p>